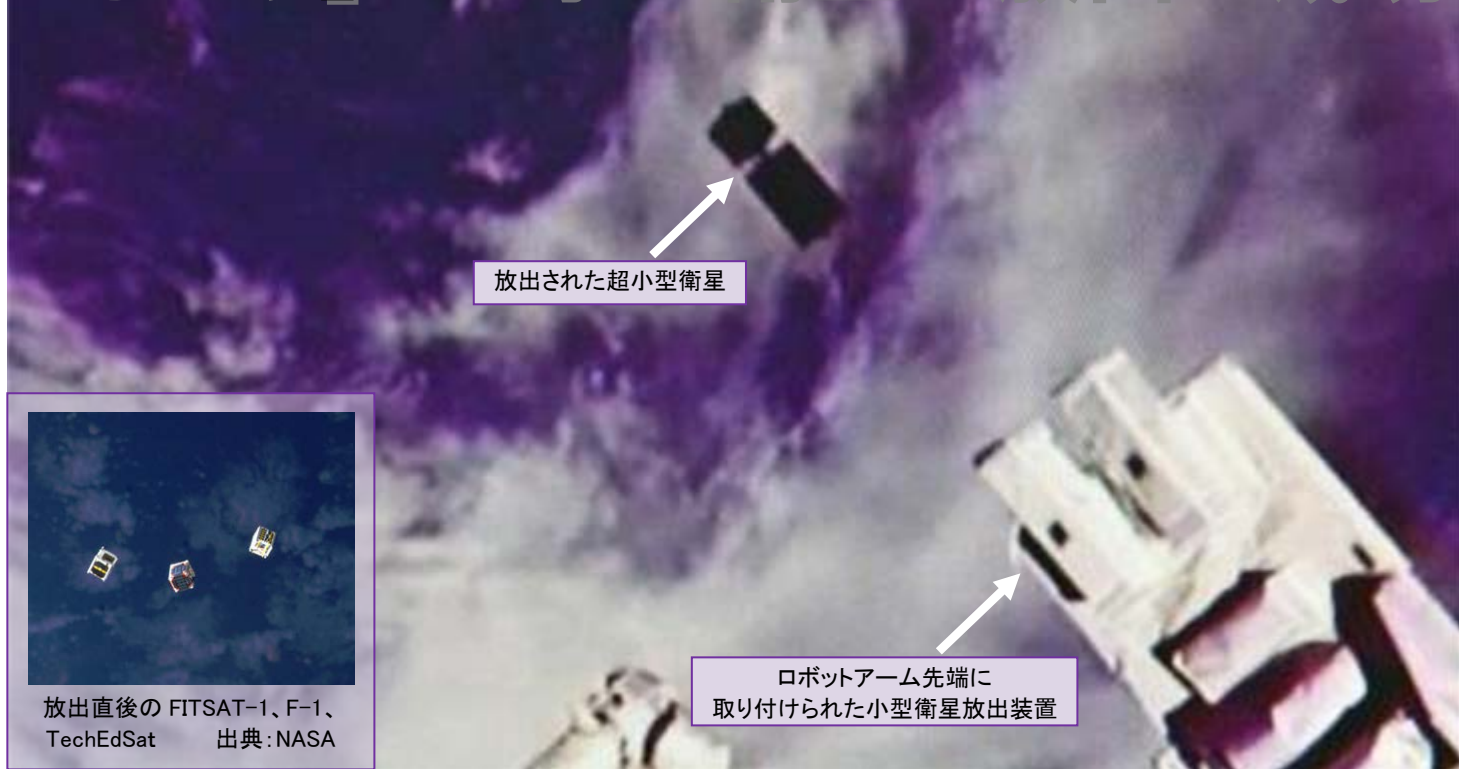


「スプートニク」打ち上げの日に世界初の快挙 「きぼう」から小型衛星の放出に成功



放出された超小型衛星

ロボットアーム先端に取り付けられた小型衛星放出装置



放出直後の FITSAT-1、F-1、TechEdSat 出典：NASA

超小型衛星を放出した瞬間の様子(和歌山大学/東北大の「RAIKO」と明星電気の「WE WISH」)(出典：JAXA/NASA)

「きぼう」から放出する場合、ロケットで直接打ち上げられる衛星よりも製作がより容易に

宇宙航空研究開発機構(JAXA)は、10月4日深夜から5日未明にかけて、国際宇宙ステーション(ISS)の「きぼう」日本実験棟から、福岡工業大などが開発した超小型衛星5機を、ロボットアームを使って軌道に投入する実験を行いました。

このミッションは、ISSの各モジュールの中で唯一エアロックとロボットアームを合わせ持つ「きぼう」日本実験棟の機能を活用したもので、現在ISSに滞在中の星出宇宙飛行士と、筑波宇宙センターの「きぼう」の運用管制チームが連携して実験に取り組み、無事成功しました。

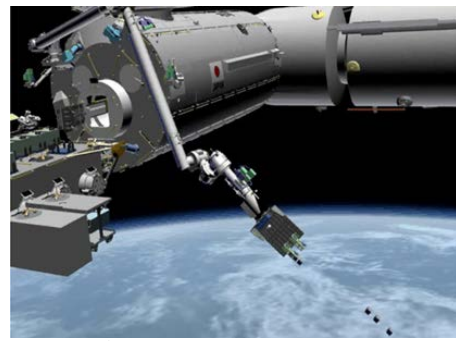
今後、それぞれの超小型衛星は地球周回軌道を飛行しながら、独自のミッションを行っていく予定です。

なお、ISSでは過去に宇宙飛行士が船外活動によって衛星を放出した例はありますが、ロボットアームの操作による放出は史上初の快挙です。

超小型衛星5機はいずれも一辺が10cm~20cmの大きさで7月に「こうのとり」3号機によりISSへ運ばれました。



「きぼう」船内で小型衛星放出に向けた準備を行う星出宇宙飛行士(出典：JAXA/NASA)



「きぼう」からの小型衛星放出イメージ

さらに詳しく知りたい方はコチラ

「きぼう」日本実験棟(小型衛星放出 mission)
<http://iss.jaxa.jp/kibo/about/jssod/#demonstration>

【おすすめ図書】「人工衛星をつくる」



著者：宮崎康行
発行：オーム社
定価：1,890円
ISBN：978-4-274-50371-9

Space i 宇宙かわら版 2012年10月5日号

問い合わせ先：Space i 事務局(財団法人日本宇宙フォーラム)

ホームページ：<http://www.spaceinfo.jp/> お問い合わせ：https://www.science-event.jp/event/spacei_contact/

※特に断りのない限り日付は日本時間です。

